

次期経営幹部候補者育成のご提案

—中堅社員が辞める時代に企業が取るべき一手とは—

近年、多くの企業様から次のようなご相談を受けることが増えています。

- ・中堅社員が定着せず、会社を辞めてしまう
- ・昇進や管理職を希望しない社員が増えている
- ・管理職になりたいがらないため後継者が育たない
- ・若手をまとめられるリーダーがない

かつては「年功序列」「終身雇用」という前提の中で、社員は自然と管理職へと育っていきましました。しかし、現在は状況が大きく変化しています。転職市場が活発になり、「会社に一生勤める」という考え方は一般的ではなくなりました。また、SNSや動画文化の影響もあり、短期的な満足を重視する傾向が強まり、長期的視点でキャリアを築く意識が弱くなっていると言われています。

その結果、

「管理職になりたくない」「責任が増えるなら現場のままでもいい」

という社員が増えているのです。

しかし、企業経営において最も重要なのは「人」です。

特に、会社を支える次期経営幹部候補の育成は、企業の未来を左右すると言っても過言ではありません。ところが、実際には、

- ・優秀な社員ほど転職をしてしまう
- ・管理職になったがマネジメントを学んでいない
- ・プレーヤーとしては優秀でも、組織をまとめられない

というケースが多く見られます。これは本人の能力の問題ではなく、「経営者視点」や「マネジメント」を体系的に学ぶ機会がないことが原因です。

そこで弊社では、次期経営幹部候補を育成する研修プログラムをご提案しております。

本研修では単なる管理職研修ではなく、経営者に必要な視点とマネジメント力の強化を中心に学んでいただきます。主なテーマは以下の通りです。

- ・経営者視点の意思決定
- ・組織を動かすマネジメント
- ・部下育成と組織作り
- ・経営数字の理解
- ・会社全体を俯瞰した思考力

また、研修では単なる知識習得ではなく、「自分が経営幹部だったらどう判断するか」という視点でケーススタディや討議を行い、実践力を高めていきます。また、最終段階では、卒業認定試験として、実際に「経営計画の作成」に取り組んでいただき、経営幹部としての視点で会社の課題や、今後の戦略、組織の方向性をまとめていただきます。

企業を取り巻く環境が大きく変化する今だからこそ、10年後、20年後の会社を支える人材育成を始めてみてはいかがでしょうか。

ご興味のある方は下記リンク、またはQRコードよりぜひお問い合わせください。

> お問い合わせはこちら

